

# 令和5年度 留萌区域地域医療構想説明会 議事概要

開催日時 令和6年(2024年)1月17日 18:00 ~ 19:45

開催場所 留萌振興局1階 102号会議室+ZOOM

## 1 開会

## 2 挨拶

## 3 議事

### (1) 次期「北海道医療計画」(素案)について

- ・事務局(久保田企画主幹)から資料1・2に基づき説明
- ・質疑応答

(留萌市 中西市長)

医療計画の基準病床数(8ページ)では留萌は208床。現在671床となっているがこれを基準に近づけていくということなのか、ロードマップのようなものが示されていくのか。

(事務局 伊勢課長)

基準病床数はあくまで計算上で、目標数ということではあるが、実態としてこれに向けてロードマップを引いてというところは、各圏域での人口減少等の違い等、また病院の統廃合など、進捗状況がそれぞれ違うので、一概に示されているという形ではない。各圏域で、それに沿って近づけていくという考え。実態として、各圏域での動きによっては近づいているところもある。既存病床数は非常に多いが基本的に今後増えることはない。北海道では札幌圏も含め、数だけで言うと、自然と基準病床数には近づいていくのかなというところ。ただ急性期回復期、高度急性期の種類の中で、過不足等が各圏域でも出てくるかと思う。その部分については必要とされる数をもって、整備したところ基準病床数を多少前後してしまうというところも、それはやむなしというような、国での検討もされていたかと思う。

(留萌市 中西市長)

基準病床数に近づかないと、交付税の関係等で減額などがあるわけではないということか。

(事務局 伊勢課長)

現時点で、そのような具体的な話は出てない。減額などについて、都道府県の医師会も含めて意見等も上げていたかと思う。その後国から何かしらペナルティーのような見合い分を考えるなどそういった具体的な施策っていうのは今のところなかったかと思う、今後、もしかしたらということはあるかもしれないが現時点では、そういう細かな誘導策というのは、具体的には示されていないところだと思う。

### (2) 「第9期北海道高齢者保健福祉計画・介護保険自供支援計画(素案)」について

- ・事務局（久保田企画主幹）から資料3に基づき説明
- ・質疑応答（無）

### （3）次期「北海道感染症予防計画」（素案）について

- ・事務局（久保田企画主幹）から資料4・5に基づき説明
- ・質疑応答（無）

### （4）留萌保健所健康危機対処計画の素案の概要について

- ・事務局（伊勢課長）から資料6-1, 6-2, 6-3に基づき説明
- ・質疑応答

（留萌市立病院 高橋院長）

論点がずれているかもしれないが、コロナの対応をしていて実感したのは、留萌管内、喫煙者が多く、重症化するのではないかと心配材料になったので、この感染症や健康危機対策ということだと、平時からの取り組みとして禁煙の取り組みは留萌管内では特に重要じゃないかと思う。なので感染症の計画というのはわかるが、公衆衛生的な観点で、禁煙の取り組みをぜひ道としても、取り組んでいただきたい。

（事務局 久保田企画主幹）

健康増進計画において喫煙の取り組みを行っており、留萌管内において喫煙率が高いということは我々も認識している。道では禁煙のお店の登録なども実施しており、そういった禁煙登録の件数も指標として入れている。禁煙への取り組みを引き続き頑張ってもらいたい。今回の意見をありがたく頂戴して、今後の参考にさせていただきたい。

### （5）地域医療構想の推進に関する意向調査の結果について

- ・事務局（久保田企画主幹）から資料7に基づき説明
- ・各病院より補足

（道立羽幌病院：阿部院長）

かねてから当院における、許可病床数120と運用病床60床の会議についての見直しを、北海道立病院事業改革推進プランに基づいて行ってきたが、この度当院3階の休床60床のうち、29床を削減し、患者サービス向上や医療従事者の勤務環境改善に有効活用するという見直し案をこの会議で発表する。この削減により、当院の全体の病床120床は91床となる。詳細については明日と明後日、病院局の担当官と当院職員が、関係機関を周り説明する。

（加藤病院：医療法人社団心優会 三輪理事長）

3月で閉院という形になるが、加藤病院の病床に関しても療養病床のため、留萌記念病院の病床と機能が同じということで、今後は留萌記念病院で、入院患者様、希望をするスタッフに関しては引き受けて、診療を継続するという予定になっている。羽幌の地域の住民の方々、患者様の方には非常にご迷惑ご不便を、おかけすることになると思う。その点においては、

羽幌町或いは道庁と、また別個にお話をして、何らかの形でお手伝いすることができるのかということに関してご相談をさせていただければ。補助金に関しては具体的に動いているところはないのでこちらに関しては、割愛させていただく。

(遠別町立国保病院：遠別町 笹川町長)

今遠別町立国保病院の有床診療所へ4月1日新築移転となり、現在36床だが、半分程度にする。2月に入りおおむね完成する予定で、開設に向け準備を進めているという状況。

(増毛町立市街診療所：増毛町 佐藤福祉厚生課長)

意向調査の中でも入院患者の方は少なく、あまり影響はないかと思っているが、3月末で廃止の予定となっている。

(天塩町立国民健康保険病院：橋本院長)

特に補足する事項なし。

(留萌市立病院：江川事務部長)

療養病棟50床を休床。スタッフ不足で1病棟休床している。実際には患者さんが療養に移りたくても、紹介し域外に転院をしてもらっている状況。留萌医療圏の中で、すんなり受け入れができないため、再開したいが、実際にはスタッフ不足でできない。さらには、この1月から、臨時的に回復期地域包括ケアが44床、現在は、休床せざるをえない状況。

#### ・質疑応答

(留萌市 中西市長)

三輪理事長の話では慢性期については、留萌記念病院で対応するという形になる。その他に増毛の方も、在宅として行っていると伺っているが、今の病床数でこの状況を維持していくことができるのか。

(医療法人社団心優会 三輪理事長)

療養病床においては羽幌、或いはその増毛の療養型の入院患者さんにおいては吸収できるだろうと考えている。また、加藤病院の加藤先生ご兄弟も、留萌記念病院で二方とも勤務していただけると内諾はいただけているため常勤医の体制も強化される。増毛に関しては在地的な介護施設のため、ある一定程度はカバーできると考えている。ただ、問題は外来患者さんで特に個人的には心配しているのは増毛の外来患者さん。そこが今まで増毛診療所で見えた患者さんがすべて例えばその留萌の開業の先生方の方に分散してこう見ていただければ、ある程度バッファーが働いてということになると思うが、例えば大半が市立病院にダイレクトに回ってしまう、或いは夜間も含めた救急にそのの負荷がダイレクトにかかってくると、非常に急性期の先生方の疲弊が進んでくるということもある。そこに関しては気にしている。それは羽幌に関しても同様だが羽幌は道立羽幌病院があるので、まだ対応できるかと思うが、増毛に関して心配している部分はある。

#### (6) 留萌管内の患者受療動向等データについて

・事務局(久保田企画主幹)から資料8に基づき説明

- ・質疑応答（無）

#### （7）留萌管内の医療従事者の状況について

- ・事務局（久保田企画主幹）から資料9に基づき説明
- ・質疑応答

（留萌市立病院 高橋院長）

留萌市立病院の取扱処方箋数が2桁の年と3桁の年があるが正しいのか。

（事務局 伊勢課長）

医療監視の際に病院から提出いただいた数字を拾ったということで、その理由は把握していない。全部のデータを見てはいないが、令和5年の取り扱い処方せん数においては、医療監視の時に提出していただいた資料は、計算上確かに24.7となっている。数値は病院からいただいている数字を機械的に計算しているため、事務局でのデータとして間違っているということではないと思う。提出いただくデータの中で実は記載の間違いがあったということがあるのかと。あくまでも推測だが考えられるところではある。現時点ではこのように回答させてもらう。

（事務局 久保田企画主幹）

医療監視のデータを拾って記載したという形になっているため、その正誤については報告の方をそれぞれの病院で見てください。見える化ということで作成したのでそれぞれのところでご覧いただければ。

#### （8）その他

- ・特記事項（無）